



## Santen グループ生物多様性方針

Santen グループは「天機に参与する」(※)という基本理念の精神に基づき、持続可能な地球環境に貢献する。点眼薬にとって最も重要な「水」をはじめ、生態系から得られる恵みの基盤となる生物多様性の重要性を認識し、ネイチャー・ポジティブ実現に寄与するよう、以下の活動を推進する。

### 1. 統合的取り組み

全ての人々が美しい世界を見つめ続けられるよう、生物多様性の保全、脱炭素社会の実現、循環型社会の形成を統合的に捉えて取り組む。

### 2. 影響評価

サプライチェーンを含む事業活動による生物多様性に及ぼす影響について把握する。

### 3. 事業活動と保全

水域・大気・土壌の汚染防止や森林非破壊など生態系に配慮した事業活動を行い、生物多様性の観点から重要度の高い当社事業関連地域においては、影響の回避と継続的な軽減に取り組む。

### 4. 生態系サービス利用

事業活動における生態系サービスの利用にあたり、持続可能な調達と利用を図る。

### 5. 遺伝資源の利用と管理

医薬品を世界で開発し供給する企業として、遺伝資源を含む生物資源は、国際的なルールや原産国のルールにもとづく適正な利用と管理を行う。

### 6. コミュニケーション・パートナーシップ

国内外の NGO、教育・研究機関、地方自治体、サプライチェーン等とのコミュニケーションを促進し、生物多様性保全に向けて連携・協働に努める。

### 7. 教育

従業員に対する教育および啓発活動を実施し、生物多様性保全への意識の向上を図る。

本方針は代表取締役社長兼 CEO の承認を取得しています。

※中国の古典、四書五経の1つである「中庸」の一節「天地の化育を賛く可ければ、則ち以って天地と参となる可し」を参天が独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するということを意味しています。